

# さいばん通信

J R 東海 労 大 阪 仕 業 検 査 車 両 所 分 会  
No. 8 2015. 6. 26  
発行責任者 松本 幸一  
編集責任者 教 宣 部

## 管理者の陳述書を明らかにする！！こんな報告をしていた！

### 19、田中 正雄 助役の陳述書（抜粋）

平成24年8月13日21時50分頃、庫2番線において、N700系新幹線電車（Z23編成）の仕業検査を担当していた渡邊社員は、チェックシート記入の際に、所定の場所である16号車の床下において記入しなかったため、私は渡邊社員に対して注意指導を行いました。

その際のやりとりは以下の通りです。

[全号車の床下検査終了後、16号車運転台にて]

田 中：渡邊、何で床下でチェックしないのや。

渡 邊：別にどこでしてもええやん、ここでもできるで。

田 中：それはあかん。チェック場所は床下と決まっているんやぞ。

渡 邊：そうですか。

田 中：次からちゃんとやれよ。

渡 邊：はい。

### 20、坊農 勝彦 助役の陳述書（抜粋）

平成24年8月16日23時48分頃、庫5番線において、N700系新幹線電車（Z9編成）の仕業検査を担当していた渡邊社員は、パンタグラフ関係検査の際に、空気管碍子（海側）とケーブルヘッド兼用支持碍子（海側）の点検をすべきところ、これらの点検を行わなかったため、私は渡邊社員に対して注意指導を行いました。

その際のやりとりは以下の通りです。

[5号車屋根上にて、パンタグラフ関係検査時]

坊 農：碍子丸々抜けたで。

渡 邊：ああ、そうや。せっかく調子良かったのに。12号車でもう一回見て。

坊 農：了解、やる気満々やな。

### 21、田中 正雄 助役の陳述書（抜粋）

平成24年8月19日22時15分頃、庫2番線において、700系新幹線電車（C2編成）の仕業検査を担当していた渡邊社員は、モニタ確認の際に、検査手順を勝手に変更し、コンプレッサの動作確認を行いながら配電盤情報の確認を行ったため、私は渡邊社員に対して注意指導を行いました。

その際のやりとりは以下の通りです。

[1号車運転台にて、モニタで配電盤情報確認時]

田 中：渡邊、同時に二つの検査やってるのか。

渡 邊：終わったら直ぐにチャートコピーに行きますので、その辺は臨機応変にやっています。

田 中：検査項目はやっているけど、手順が違う、ひとつひとつ確実に検査しなさい。

渡 邊：分かってます。・・・今は時間がないし。

田 中：慌てるな。

次回もお楽しみ！！